

### 燕労災病院の理念

◎働く人々と、地域の人々のために最善の医療を目指します。

### 病院の基本方針

◎安全で質の高い医療の提供を目指します。

◎勤労者の健康管理を支援します。

◎医療に関する教育・研修を支援します。

◎地域の人々の健康を守り、福祉に寄与します。

### 目次:

*病院長より: 年頭のご挨拶	1
*医療安全管理者より: 北陸3労災病院 医療安全 相互チェックについて	2
*寒い冬に心を温かくさせた クリスマスコンサート *医療機器管理システム 導入について	3
*編集部より	3
*外来診療科別担当医師表	4

# 燕ろうさいつうしん

## 【年頭のご挨拶】 燕労災病院院長 宮下 薫

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。平成23年の年頭にあたりましてご挨拶申し上げます。

平素より当燕労災病院をご利用頂き、またいろいろご支援を賜り有難うございます。われわれの労働者健康福祉機構も独立行政法人化して7年経過し、政権交替後、昨年4月の「事業仕分け」そして「独立行政法人整理合理化計画」に沿って個別に病院が評価されることとなります。当院の過去の資料をみますと医師等の不足が叫ばれるなか政策医療の推進、地域医療への貢献を目標に頑張ってきたことがうかがえます。しかし、われわれにとりましても十分だったとはいえ、皆様方にも御不満を与えてしまったこともあったらと危惧しておりました。

とはいえ、年も改まりました、病院を取り囲む環境は厳しいものがありますが、気持ちを新たに前に進むしかありません。一昨年7月に県から地域支援病院の認定をして頂き、暮れの12月には日本病院機能評価機構のver6.0の機能評価の受審と病院の質を落とさないように努力して参りました。また今年はおオーダーリングシステムから電子カルテ化に向かって職員一同取り組んでいる真っ最中です。これらはみなこの地域の皆様に良い医療を提供したいという気持ちが込められています。

さて労災病院といえば、先ほど申し上げた政策医療の推進があります。具体的にはこの地区に多かった指の切断などの外傷を主とした「勤労者医療」、環境の改善で減少したというものの時に患者さんが搬送され、少ない医師数ながら、懸命に再接合や機能の改善などに取り組んでいます。そのような努力もあり、職業に関連した労災疾病等の13分野である「職業性の四肢の挫滅損傷及び外傷性切断に対する治療法および地域医療連携体制の構築に係る研究・開発、普及」の研究テーマを機構本部からいただき研究を進めています。そして生活習慣に関係した循環器、消化器、内分泌系、の神経系あるいはがんなどの疾患に対して専門性の高い医療の提供を目指しております。県央地域の医療、特に救命救急センターをどうするかいろいろ議論されていますが、中核的な病院として努力していくつもりであります。

医師が増員されればより「安心な医療」を受けることにつながります。新臨床研修制度などの影響もそろそろとれてくるのではないかと思います。医師の招聘に最大の努力をしていますが、一病院の努力ではなかなか難しく、地域住民の方々からのご支援が是非とも必要です。今後も、皆様方からのご助言・ご協力等をお願いしつつ、平成23年の「卯年」の今年が皆様にとりましても病院にとりましても「飛躍」するよい年になる事を祈念して新年のご挨拶を申し上げます。



## 【北陸3労災病院 医療安全相互チェックについて】

燕労災病院 医療安全管理者 藤田ミチ

燕労災病院では、厚生労働省が定める医療安全推進週間にあわせ、平成16年度から上越市にある新潟労災病院と富山県魚津市にある富山労災病院との3病院間で医療安全相互チェックを行ってきた。他施設の職員から客観的視点で評価してもらうことは、気づきが生まれ改善に繋がりやすいという利点があり、その実績・効果が機構本部に認められ平成18年度から全国の労災病院でも行われるようになった。

今年度は「転倒・転落、身体拘束」をテーマに、11月12日（金）午後、富山労災病院の医療安全担当の医師・リハビリテーション技師・事務・看護師（医療安全管理者）に3階西病棟と2階西病棟とリハビリテーション科を巡回してもらい、病室の環境や医師・看護記録から転倒・転落に関して予防策がとられているか、患者さまに身体拘束をする場合のマニュアルの有無や観察がされているか、解除基準があり評価しているかをチェックしてもらった。リハビリテーション科では訓練する際に注意している点や訓練室の環境、物品管理等をみてもらい、最後に会議室で講評・提言をうけ終了となった。今年度は大きな指摘がなく概ね良好との評価であった。

また、11月26日（金）の午後、当院の医療安全総括責任者である小方副院長とリハビリテーション科花岡主任作業療法士、内田医事課長と藤田医療安全管理者の4人で新潟労災病院を同様にチェックしてきた。

北陸3労災病院の医療安全相互チェックは、回を重ね双方にいい効果をもたらしてきた。今後は近隣の病院と相互チェックができるようにしていきたい。



医師・看護記録をチェック中



リハビリ科をチェック中



富山労災病院の職員から講評



講評を受けて、小田副院長の挨拶

